



第2回

千葉の空と空気

【講師】 久世 宏明（千葉大学教授）

私たちが日常生活を行っている空気の中には、二酸化炭素などの温暖化気体や各種の大気汚染気体が存在しています。こうした気体の量を詳しく測ることは、温暖化効果を評価する上でも、また健康被害を防止する意味からも大切です。この教室では、こうした気体の量を空の光の計測からどのように測定するか、千葉大学での最近の研究をふまえ、気候変動とも関連付けて解説します。

【日時】 6月19日（金）18：00～19：30

【場所】 千葉市科学館10階探究実験室

【対象】 高校生～大人

【定員】 先着 30名

【料金】 常設展示入館料のみ

大高館長の講座おすすめポイント！

京葉工業地帯は日本の発展の一翼をこれまでもこれからも担っている。隅田川や多摩川の水質の向上はよく話題になる。アユも戻っているらしい。昨秋実施した「きぼーる」の屋上での観測データも利用しつつ千葉の空を語ります。毎夕方、お休み前の大騒ぎをしているムクドリやトンと姿を見せなくなったツバメは千葉の大気をどう感じているだろうか。

【事前申込 ☎ 043-308-0519】

受付時間：9：00～19：00

※複数の講座申込可

後援：日本リモートセンシング学会 / 千葉大学環境リモートセンシング研究センター